

大津市

社会資本総合整備計画

災害に強い安全で安心な公園づくり (第三期)

計画期間：令和2年度～令和6年度

計画対象公園：皇子が丘公園ほか5公園

令和2年1月提出

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年01月24日

計画の名称	災害に強い安全で安心な公園づくり（第三期）											
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	大津市											
計画の目標	本市における都市公園は、225箇所にせまる数となっており、公園に設置されている主要建築物の耐震化や施設の急速な老朽化は、大きな懸案事項となっている。そのような状況の中で、主要建築物の耐震化及び公園施設長寿命化計画に基づく施設の年次的な更新を行うとともに、避難場所として利用できる公園等の整備を推進することにより、災害時における避難者の安全確保に努め、安全で安心なまちづくりに寄与する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	358	A	358	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	大津市地域防災計画において避難場所等に位置付けられており、本計画期間中に新施設へ再整備する予定の無い公園施設の耐震化率を86%(R2当初)から100%(R6末)に向上させる。 防災避難所に位置付けられた公園の主要施設の耐震化率(当市策定の計画「災害に強い安全で安心な公園づくり(防災・安全)」にて平成28年度まで実施した事業の継続)	86%	86%	100%
2	避難場所として利用できる公園緑地等を1箇所整備することにより、当該地への災害時避難可能者数を0人(R2当初)から2,098人(R4末)に向上させる。 対象公園における避難可能者数(当市策定の計画「災害に強い安全で安心な公園づくり(防災・安全)」及び「災害に強い安全で安心な公園づくり(第二期)(防災・安全)」にて令和元年度まで実施した事業の継続) 避難可能者数(人) = 評価時点の避難可能面積 (㎡) ÷ 1人あたりの必要避難面積 (㎡/人)	0人	2098人	2098人
3	老朽化等した公園施設について、改築及び更新を実施した公園施設の割合を0%(R2当初)から50%(R6末)に向上させる。 老朽化等した公園施設について、改築及び更新を実施した公園施設の割合	0%	29%	50%

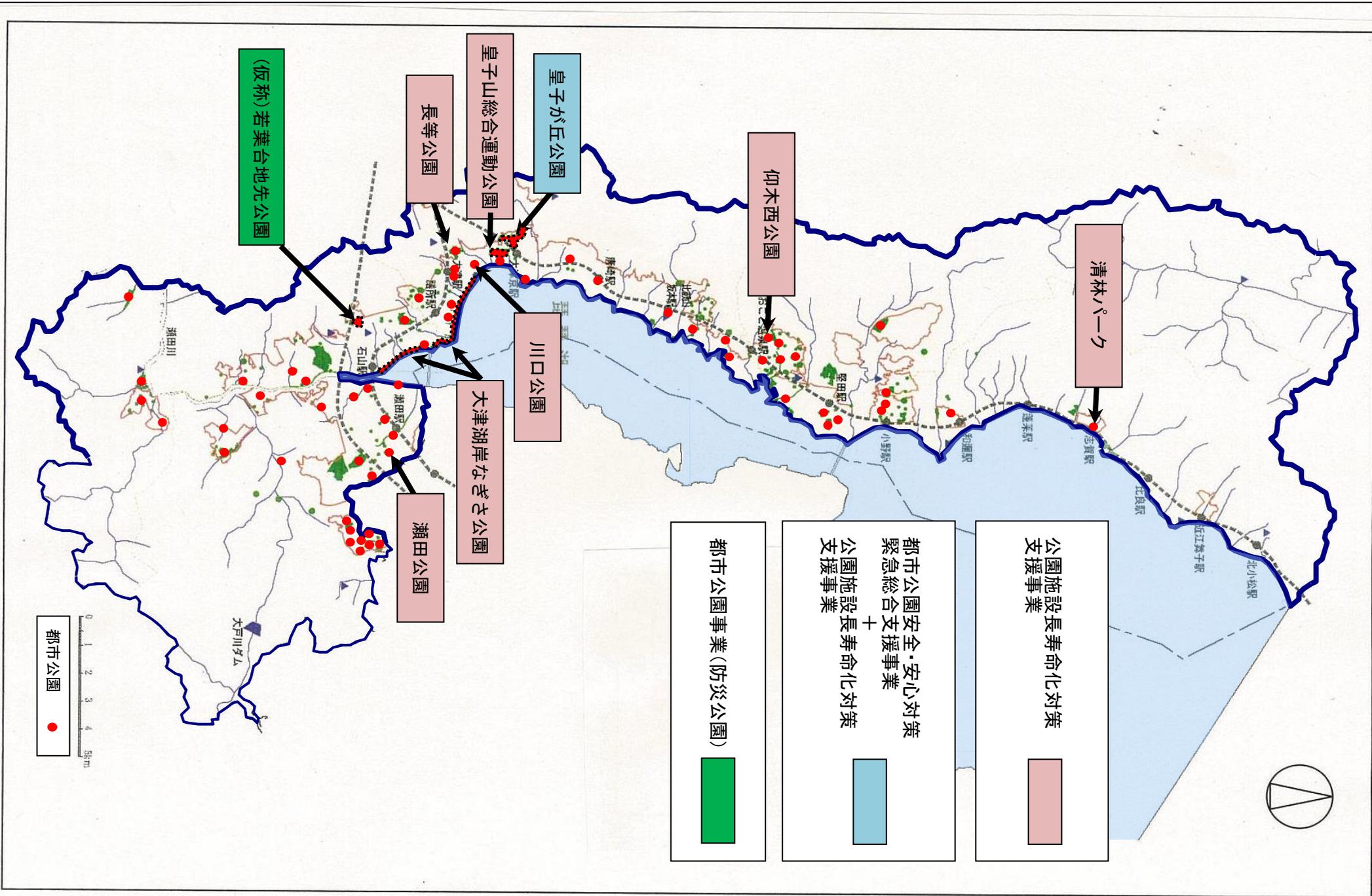
備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	大津市	直接	大津市	-	-	都市公園安全・安心対策 緊急総合支援事業	皇子が丘公園における運動施設 の耐震化	大津市						112	-	
	A12-002	公園	一般	大津市	直接	大津市	-	-	都市公園事業(防災公園)	(仮称)若葉台地先公園整備	大津市						125	-	
	A12-003	公園	一般	大津市	直接	大津市	-	-	大津市公園施設長寿命化 対策	仰木西公園ほか3公園におけ る施設等の改築 等	大津市						121	策定済	
											小計							358	
											合計							358	

参考様式 3

計画の名称	災害に強い安全で安心な公園づくり(第三期)		
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)	交付対象	大津市



事前評価チェックシート

計画の名称： 災害に強い安全で安心な公園づくり（第三期）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 「緑の基本計画」との適合等	○
I. 目標の妥当性 1) 計画目標が緑の基本計画における基本目標と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 緑の基本計画との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	○
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	○
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 基幹事業にちなんだ関連事業等の実施によって、より効果が上がるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 事業の緊急性	○
III. 計画の実現可能性 1) 地域住民の安全性が確保されるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 2) 各地域の課題の解消となる計画となっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	○
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

2) 予算の確保が可能である現実的な事業費を見込んだ計画となっている。

○